

# BANK REPORT 2017

百十四銀行

平成29年9月中間期 ミニディスクロージャー誌

第149期 営業の中間ご報告

平成29年4月1日～平成29年9月30日

114BANK mini Disclosure



地域のスポーツイベントに選手として参加するだけでなく、ボランティアスタッフとして各大会をサポートしました。

## 地域の笑顔と未来に貢献します!!



小学4年生以上を対象に「夏休み親子教室」を開催したほか、大学や高校で特別授業の講師をつとめました。

### CONTENTS

ごあいさつ・経営理念	1	業績ハイライト	9
中期経営計画	2	経営の健全性について	11
地方創生	3	株式情報	12
個人のお客さまへ	7	財務データ	13



平素より百十四銀行をご利用、お引き立ていただき、まことにありがとうございます。  
この度、皆さま方の当行に対するご理解が一層深まりますよう、「平成29年9月中間期ミニディスクロージャー誌・第149期営業の中間ご報告」を作成いたしました。  
ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、当期のわが国経済は、円安や輸出の増加のほか、生産活動の回復による企業収益の改善に加え、個人消費も持ち直しの動きが継続したことから、緩やかな回復基調が続きました。

当行は、このような環境下、本年4月に新中期経営計画「チャレンジ・バリュー・プラス」(計画期間:平成29年度～平成31年度)をスタートさせました。新たな価値の共創を図るために営業面・事業基盤面でさまざまな変革を起こし、「金融の垣根を越えて地域の『ありたい』にとことん関わり、地域と一緒に成長する」という“めざすべき姿”の実現に向け、全力でお客さまと地域の成長に尽力してまいります。

あわせて、皆さまから揺るぎないご信頼をいただけますよう、お客さま本位の業務運営及びコンプライアンスや顧客保護にかかる内部管理態勢の一層の充実に当行グループの総力を挙げて取り組んでまいります。

平成29年12月

頭取 緩田 裕次郎

## 経営理念

- 1 お客さま・地域社会との共存共栄をめざします。
- 2 活気ある企業風土の醸成をめざします。
- 3 健全性の確保と企業価値の創造をめざします。

## Profile

平成29年9月30日現在

本店所在地	香川県高松市亀井町5番地の1	発行済株式総数	300,000千株
創業	明治11年11月1日	従業員数	2,390人
総資産	4兆7,969億円	店舗数	124店舗 (本支店103、出張所21)
総預金	4兆530億円(譲渡性預金を含む)	店舗数	海外駐在員事務所 2 (上海・シンガポール)
貸出金	2兆7,712億円	店舗外ATMコーナー	171カ所 217台
資本金	373億円		

※本冊子に掲載されている計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

# 中期経営計画

## 中期経営計画について

人口減少や少子高齢化など地域の社会的な課題が進行するなかで、当行の経営理念である「お客さま・地域社会との共存共栄」「活気ある企業風土の醸成」「健全性の確保と企業価値の創造」を進むべき指針として、平成29年度を初年度とする3ヶ年の中期経営計画「チャレンジ・バリュー・プラス」に取り組んでいます。

名称・計画期間

**チャレンジ・バリュー +<sup>プラス</sup>** ~金融の枠を越え、新たな価値を共創~  
(平成29年4月~平成32年3月)

「どんなときもお客さまと地域を徹底的にサポートする」という行動指針のもと、お客さま・地域と当行が共に成長する好循環の実現をめざし、ビジネス面・事業基盤面でさまざまな変革を起こしてまいります。

**めざすべき姿** 金融の垣根を越えて地域の「ありたい」ととことん関わり、地域と一緒に成長する



5つのプラスの実践でお客さまや地域をどんなときもサポートする体制を構築し、金融の枠にとらわれず3つのチャレンジでお客さま・地域そして当行が一緒になって成長していくための新たな価値（バリュー）を共創します。また、市場運用の強化と経営基盤の充実により当行の持続可能性を確固たるものにしてまいります。

## 四国アライアンス

～「四国創生」に向けた取り組み～

平成28年11月、四国の地方銀行4行は、四国創生に向けた包括提携「四国アライアンス」を締結しました。4行はそれぞれの経営の独立性及び健全な競争関係を維持しつつ、「興す」、「活かす」、「繋げる」、「育む」という4つに、これらを支える「協働する」を加えた5つのテーマに取り組んでいます。



地域・お客さまと4行が持続的に成長・発展



## 「いよぎん証券株式会社」との 金融商品仲介業務開始

平成29年4月

金融商品仲介業務において「いよぎん証券株式会社」を提携先に加え、同社商品の取扱いを開始しました。

## 4行によるビジネスマッチング開始

平成29年4月

4行が有する様々なネットワークを活用し、お客さまのヒト・モノ・カネ情報に関するあらゆる事案ニーズにお応えします。

## 「四国『道の駅』自慢の逸品ラリー」 への参加

平成29年7月

四国「道の駅」は、地域固有の魅力ある資源を発信し、「まち」の産業・観光振興に取り組んでいます。四国「道の駅」を訪れ、各地域の自慢の逸品を購入または体験して周遊するスタンプラリーに参加しています。(平成29年12月29日まで)

## 「上海ビジネス交流会」の開催

平成29年7月

中国・上海市にて、中国での積極的なビジネス展開に関心のあるお客さまを対象に、情報交換や企業交流の機会をご提供するために開催しました。

## 「地域創生ファンド」の取扱い開始

平成29年7月

四国アライアンスによる共同企画として独自に組成した投資信託「四国アライアンス 地域創生ファンド【愛称：四国の未来】」の取扱いを開始しました。

## “銀行で保険” 共同プロモーションの開始

平成29年7月

縁起のよい「フクロウ」をモデルとしたオリジナルキャラクター「ぎんほ」を活用し、チラシやポスター等を通じて、保険相談の認知度向上に向けて取り組んでいます。

## 「新幹線を活かした四国の地域づくり ビジョン調査」への協力

平成29年7月

四国新幹線実現に向けた動きを加速していくため、今後、四国新幹線が四国にもたらしうる効果を「四国新幹線整備推進期成会」と4行および各シンクタンクが共同調査し、新幹線を活かした四国の地域づくりの方向性を取りまとめます。

## 株式会社東京証券取引所との 四国創生に向けた基本協定締結



平成29年10月、株式会社東京証券取引所と資本市場に関する連携についての基本協定を締結しました。本協定に基づき、各行の営業地域での企業の成長支援や株式上場を促進することで、地域経済の活性化や発展に寄与してまいります。

香川県は、2000年から人口減少が続いており、2040年には人口が約77万人になると推計されています（※国立社会保障・人口問題研究所調べ）。地方の人口急減は、労働力人口の減少や消費市場の縮小を引き起こし、地方の経済規模を縮小させると予想されています。百十四銀行では、多様な支援策を駆使して、人口減少問題や地域経済の活性化に取り組んでまいります。

## 事業承継・M&A支援

中小企業の後継者問題がクローズアップされるなか、M&Aを含めた円滑な事業承継をサポートしています。

事業承継にあたっては、自社株評価を起点とした株式移転方法の助言や提携税理士法人との協業による組織再編スキームの実行などを提案し問題解決につとめています。

後継者不在のお取引先企業様においては、M&Aを活用した他社との資本提携による従前と変わらぬ事業継続の支援を行っています。

当行の強みである広域にわたる顧客ネットワークや情報網をフル活用することで、M&Aの成約件数は年々増加しており、平成28年度は株式会社日本M&Aセンターの地域貢献大賞を受賞しました。

少子高齢化  
の進行

香川  
抱える



(株)日本M&Aセンター  
中四国地区 地域貢献大賞受賞

### 114事業承継セミナーの開催

中小企業経営者、後継者の方を対象に「114事業承継セミナー」を開催しました。

第一部では「事業承継を円滑に進めるポイント」、第二部では「事業承継の出口戦略としてのM&A」をテーマに、専門家の方をお招きし、ご講演いただきました。



人口減少

県の  
課題

地域活力  
の向上

## 婚活支援

香川県が設置している「かがわ縁結び支援センター」の活動協力をするほか、地域の活性化につながる取り組みとして独自イベント開催や各地方公共団体企画の婚活支援活動への積極的な協力を行っています。

お取引先さまの事業承継を目的に、個別引き合わせも行っています。

### 婚活イベントの開催

庵治、牟礼、屋島山上において、恋愛にまつわる場所と歴史を無料ガイドにて学び、レクリエーションゲームと夕食作りをしました。



## 観光振興

着地型観光支援として、当行の女性行員と香川県の女性職員で「瀬戸内モニターガールズ」を結成し、「モニタリング研修会」を通じて香川県内の伝統的な企業や今後新たな地域資源となりそうな観光地や特産物等を女性目線で調査・発信する活動を行っています。

### 第10弾 三豊市モニタリング研修会

特産品、豊かな自然や温暖な気候を活かした観光に力を注いでいる三豊市で「絶景デートスポット発見」をテーマにモニタリング研修会を実施しました。旅行企画の考案や、市内の港から短時間で行くことができる栗島でフオスポットの発掘、瀬戸内海の温暖な気候を活かし、ノーワックス・減農薬にこだわったレモンを生産している企業でレモンの活用方法についてモニタリングをしました。



## 114がもっと便利に!! もっと身近に!

百十四銀行は、お客さまがご利用いただきやすいサービスの提供につとめています。

新しいサービスで、百十四銀行をもっと便利に、もっと身近に感じてください!

### ホームページがもっと便利に!

「よくあるご質問(FAQ)」検索サービスに

AI(人工知能)を活用

お客さまが入力したご質問に対し、お客さまのご要望に近い質問と回答の組み合わせを表示します。

次回以降の回答表示に活用されるほか、検索回数の多いご質問等は自動的に表示することができます。

平成29年7月  
サービス  
開始!



## スマートフォンアプリが もっと便利に!

全面リニューアルを行います

平成30年1月予定

皆さまにご利用いただいている百十四銀行のスマートフォンアプリが新しくなります。スマートフォンでの「口座開設のお申込み」「個人ローンのお申込み」「ご本人確認資料の送付」「お客さまへのお知らせ」等が追加され、お客さまにとってますます便利なスマートフォンアプリへと生まれ変わります。

平成30年1月  
サービス  
開始  
予定

## 百十四銀行がもっと身近に!

ソーシャルメディア公式アカウントを開設しました

皆さまが普段お使いのソーシャルメディアを通じて、百十四銀行から皆さまへお役に立つ情報をお届けします。

平成29年9月  
サービス  
開始!



新商品・サービスのご紹介に加え、当行が取り組んでいる様々な社会貢献活動や地域のイベント情報などを発信します。



キャンペーンのご案内や、新サービス、新しい情報コンテンツの更新など、おトクな情報や役立つ情報をお届けします。



百十四銀行のCMなど、さまざまな動画を公開しています。



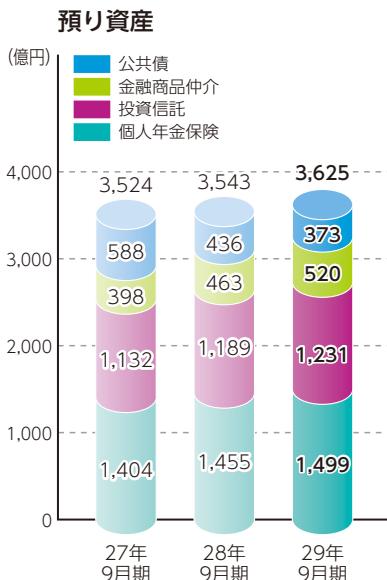
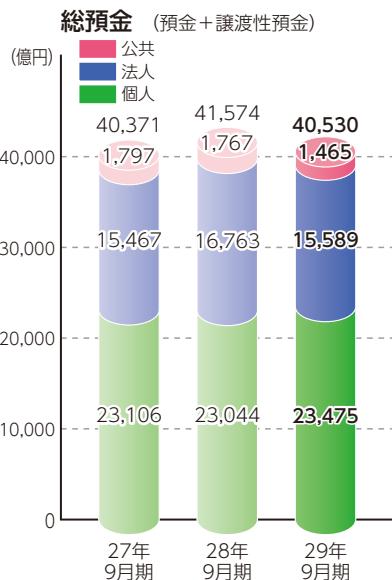
# 業績ハイライト

## 総預金・貸出金等の残高推移

### 総預金等

個人預金は増加しましたが、法人及び公共預金が減少したことにより、当中間期の総預金残高は、前年同期比1,044億93百万円減少して4兆530億1百万円となりました。

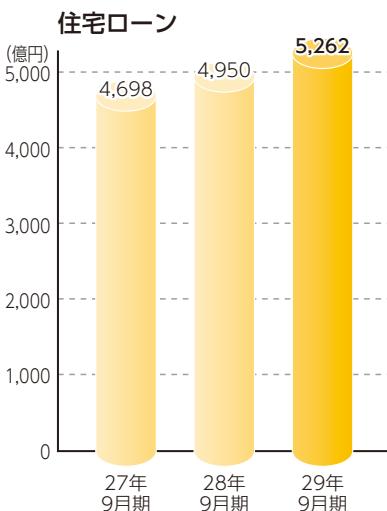
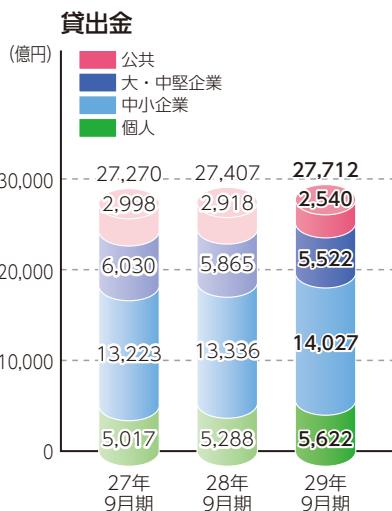
また、預り資産残高は、公共債は減少しましたが、投資信託、個人年金保険、金融商品仲介の増加により、前年同期比81億27百万円増加し、3,625億10百万円となりました。



### 貸出金

大・中堅企業向け及び公共向け貸出金は減少しましたが、中小企業及び個人向け貸出金が増加したことにより、当中間期の貸出金残高は、前年同期比304億63百万円増加して2兆7,712億54百万円となりました。

また、住宅ローンを積極的に取り組んでまいりました結果、当中間期の住宅ローンの残高は、前年同期比312億25百万円増加し、5,262億70百万円となりました。



## 業績の推移

コア業務純益は、金融派生商品収益の増加などによるその他業務利益の増加などにより、前年同期比4億49百万円増加して74億45百万円となりました。

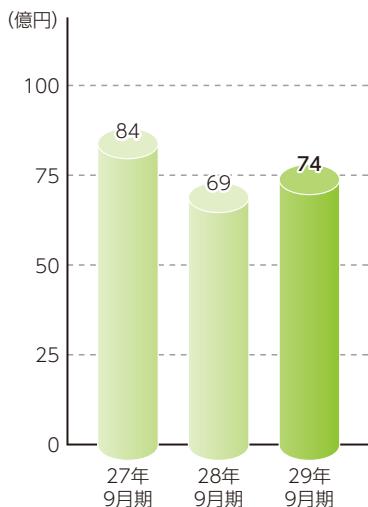
経常利益は、債券関係損益の減少などにより、前年同期比12億57百万円減少して78億92百万円となりました。

また、中間純利益は、前年同期比5億81百万円増加して53億96百万円となりました。

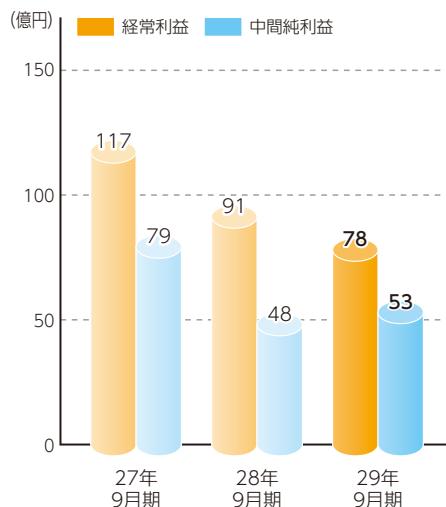
### \*コア業務純益とは

コア業務純益 = コア業務粗利益(資金利益 + 受取手数料など) - 経費  
銀行の本来業務からの利益を表す指標。

### コア業務純益

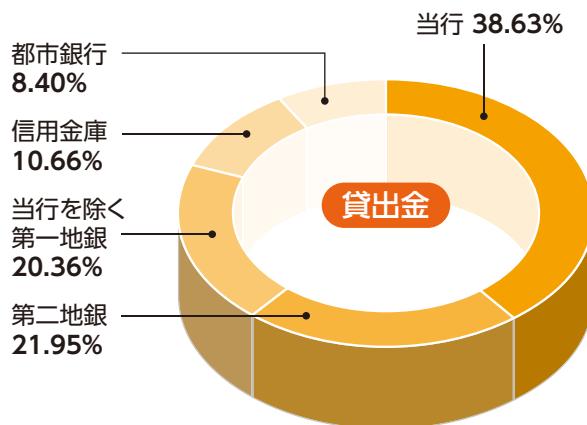
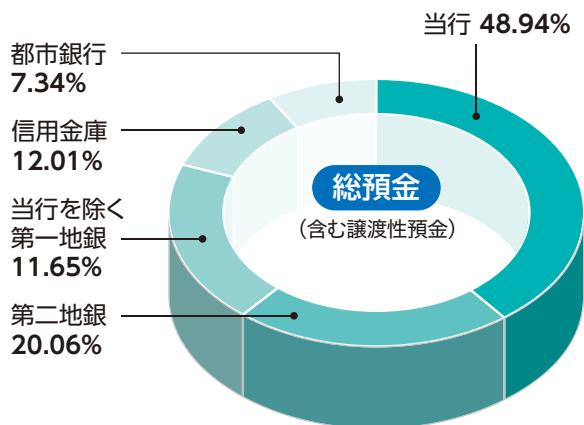


### 経常利益・中間純利益



## 香川県内シェア

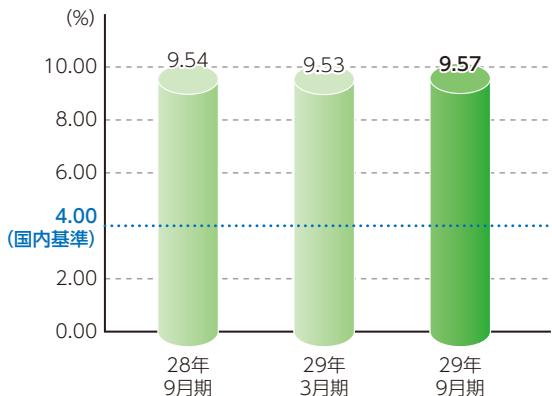
(平成29年9月30日現在)



# 経営の健全性について

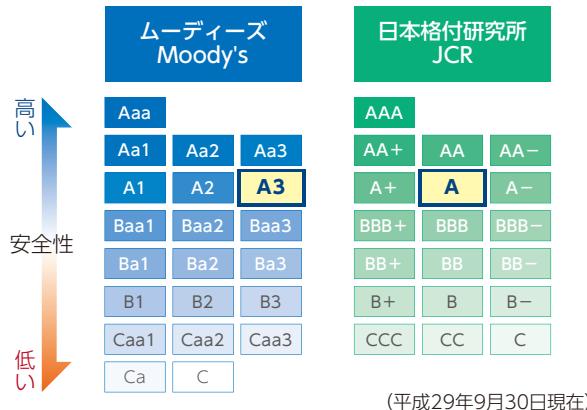
## Ⅰ 連結自己資本比率の推移

連結自己資本比率は、平成29年9月期現在で9.57%となっており、引き続き十分な水準を確保しております。



## Ⅰ 格付

当行は、ムーディーズ社 (Moody's) から長期信用格付について「A3」を、日本格付研究所 (JCR) から長期信用発行体格付について「A」の格付を取得し、国内外の格付機関から経営の健全性が評価されています。



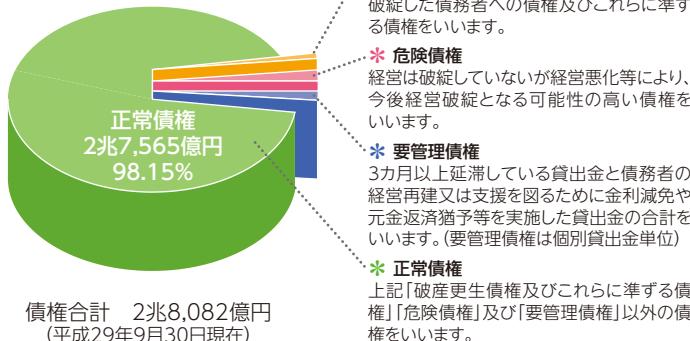
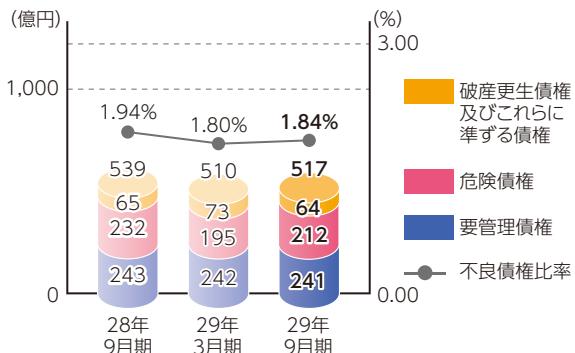
## Ⅰ 金融再生法開示債権の状況

当中間期の金融再生法開示債権ベースの不良債権残高は、前期比7億43百万円増加して516億94百万円となりました。また、債権合計に占める不良債権比率は、前期比0.04ポイント上昇して1.84%となりました。

### \* 金融再生法開示債権とは

金融再生法に基づき、与信額(貸出金・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金(貸出金に準ずるもの)及び銀行保証付私募債)を対象とし債務者単位で区分しております。

### 金融再生法開示債権の推移と対応状況(金額単位未満四捨五入)



# 株式情報

## ■ 株式のご案内

### ▶ 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までといたします。

### ▶ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

### ▶ 配当金のお支払

期末配当金 3月31日現在の株主に対しお支払いいたします。  
中間配当金 中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主に対しお支払いいたします。

なお、配当金のお受け取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込みをご指定いただけますと便利です。

### ▶ 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

### ▶ 株式事務取扱場所

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行業

### 各種お問合せ

(郵便物送付先) 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行業

(ご照会先) 0120-094-777 (通話料無料)  
(ホームページアドレス) <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

### 〈株式に関する各種お手続き〉

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更、単元未満株式の買取請求及び買増請求などについては、口座開設されている証券会社等(証券会社等に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社)へお届ください。

### ▶ 公告掲載方法

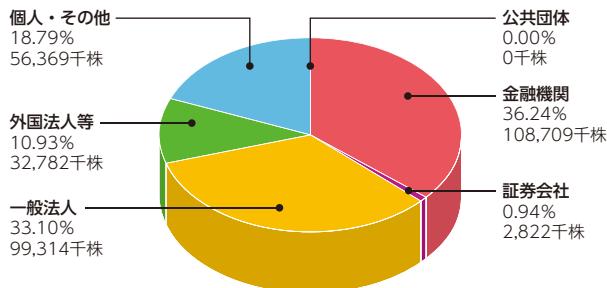
日本経済新聞に掲載いたします。

## ■ 株式の状況

▶ 発行済株式の総数：300,000千株

▶ 株主数：10,744名

▶ 所有者別株式数



(平成29年9月30日現在)

## ■ 株主優待制度

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの皆さまに当行株式を長期間保有していただくために、株主優待制度を導入しております。

### ▶ 対象となる株主さま

毎年3月末時点の当行株主名簿に記載された1,000株(1単元)以上所有される株主さま

### ▶ 優待制度の内容

地元香川県の特産品を中心に掲載した専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。なお、専用カタログは毎年6月の発送を予定しております。



保有株式数	専用カタログ商品
1,000株以上5,000株未満	2,500円相当
5,000株以上	5,000円相当

# 財務データ | 当行単体

## 中間貸借対照表

		(単位:百万円)	
科 目	平成29年9月期 (平成29年9月30日現在)	科 目	平成29年9月期 (平成29年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	494,583	預 渡 性 預 金	3,919,832
コールローン	23,109	コ ー ル マ ネ ー	44,862
買入金銭債権	29,664	債券貸借取引受入担保金	75,939
商品有価証券	66	借 用 金	215,643
金銭の信託	4,851	外 国 為 替	222
有 価 証 券	1,362,457	そ の 他 負 債	79,779
貸 出 金	2,771,254	未 払 法 人 税 等	1,128
外 国 為 替	12,434	リ ー ス 債 務	528
そ の 他 資 産	46,564	資 産 除 去 債 務	201
その他の資産	46,564	そ の 他 の 負 債	77,921
有形固定資産	36,684	睡眠預金払戻損失引当金	337
無形固定資産	4,653	偶 発 損 失 引 当 金	82
前払年金費用	4,255	株 式 報 酬 引 当 金	13
支払承認見返	20,306	繰 延 税 金 負 債	19,185
貸倒引当金	△13,965	再評価に係る繰延税金負債	5,648
		支 払 承 諾	20,306
		<b>負 債 の 部 合 計</b>	<b>4,515,023</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
		資 本 金	37,322
		資 本 剰 余 金	24,920
		資 本 準 備 金	24,920
		利 益 剰 余 金	155,392
		利 益 準 備 金	12,402
		そ の 他 利 益 剰 余 金	142,989
		固定資産圧縮積立金	273
		別 途 積 立 金	135,661
		繰越利益剰余金	7,055
		自 己 株 式	△2,093
		株 主 資 本 合 計	215,541
		その他有価証券評価差額金	57,823
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△122
		土 地 再 評 価 差 額 金	8,530
		評価・換算差額等合計	66,231
		新 株 予 約 権	124
		<b>純 資 産 の 部 合 計</b>	<b>281,897</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>4,796,920</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>4,796,920</b>

## 中間損益計算書

		(単位:百万円)	
科 目	平成29年9月期 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)	科 目	平成29年9月期 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)
<b>経 常 収 益</b>	<b>37,240</b>	<b>経 常 費 用</b>	<b>29,348</b>
資金運用収益	24,665	資金調達費用	2,994
(うち貸出金利息)	15,731	(うち預金利息)	1,034
(うち有価証券利息配当金)	8,465	役員取引等費用	2,087
役員取引等収益	4,999	その他業務費用	4,546
その他業務収益	4,920	営 業 経 費	18,804
その他経常収益	2,654	その他経常費用	916
<b>経 常 利 益</b>	<b>7,892</b>	特 別 利 益	8
特別利益	8	特 別 損 失	36
特別損失	36	税 引 前 中 間 純 利 益	7,863
税引前中間純利益	7,863	法 人 税 等 調 整 額	604
法人税、住民税及び事業税	1,862	法 人 税 等 合 計	2,467
法人税等調整額	604	<b>中 間 純 利 益</b>	<b>5,396</b>
法人税等合計	2,467		
中間純利益	5,396		

# 財務データ | 連結

## 中間連結貸借対照表

		(単位:百万円)	
科 目	平成29年9月期 (平成29年9月30日現在)	科 目	平成29年9月期 (平成29年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	494,686	預 金	3,913,429
コールローン及び買入手形	23,109	譲 渡 性 預 金	127,168
買入金銭債権	29,664	コールマネー及び売渡手形	44,862
商品有価証券	66	債券貸借取引受入担保金	75,939
金銭の信託	4,851	借 用 金	218,103
有 価 証 券	1,360,737	外 国 為 替	222
貸 出 金	2,767,394	そ の 他 負 債	87,061
外 国 為 替	12,434	退職給付に係る負債	184
リース債権及びリース投資資産	17,558	役員退職慰労引当金	29
そ の 他 資 産	49,984	睡眠預金払戻損失引当金	337
有形固定資産	41,100	偶発損失引当金	82
無形固定資産	5,805	株式報酬引当金	13
退職給付に係る資産	7,722	繰 延 税 金 負 債	20,239
繰 延 税 金 資 産	777	再評価に係る繰延税金負債	5,648
支払承諾見返	20,306	支 払 承 諾	20,306
貸倒引当金	△16,123	<b>負 債 の 部 合 計</b>	<b>4,513,629</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
		資 本 金	37,322
		資 本 剰 余 金	30,486
		利 益 剰 余 金	161,569
		自 己 株 式	△2,093
		株 主 資 本 合 計	227,284
		その他有価証券評価差額金	58,217
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△122
		土 地 再 評 価 差 額 金	8,530
		退職給付に係る調整累計額	2,412
		その他の包括利益累計額合計	69,037
		新 株 予 約 権	124
		非 支 配 株 主 持 分	10,000
		<b>純 資 産 の 部 合 計</b>	<b>306,447</b>
<b>資 産 の 部 合 計</b>	<b>4,820,077</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>4,820,077</b>

## 中間連結損益計算書

		(単位:百万円)	
科 目	平成29年9月期 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)	科 目	平成29年9月期 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)
<b>経 常 収 益</b>	<b>41,479</b>	<b>経 常 費 用</b>	<b>32,389</b>
資金運用収益	24,659	資金調達費用	2,820
(うち貸出金利息)	15,777	(うち預金利息)	1,034
(うち有価証券利息配当金)	8,412	役員取引等費用	1,747
役員取引等収益	5,761	その他業務費用	4,546
その他業務収益	4,920	営 業 経 費	19,702
その他経常収益	6,137	その他経常費用	3,572
<b>経 常 利 益</b>	<b>9,089</b>	<b>経 常 利 益</b>	<b>9,089</b>
特別利益	26	特別利益	26
特別損失	38	特別損失	38
税金等調整前中間純利益	9,078	税金等調整前中間純利益	9,078
法人税、住民税及び事業税	2,136	法人税、住民税及び事業税	2,136
法人税等調整額	722	法人税等調整額	722
法人税等合計	2,858	法人税等合計	2,858
中間純利益	6,219	中間純利益	6,219
非支配株主に帰属する中間純利益	176	非支配株主に帰属する中間純利益	176
親会社株主に帰属する中間純利益	6,043	親会社株主に帰属する中間純利益	6,043

当行は、下記10社を子会社等として中間連結財務諸表を作成しております。

日本橋不動産株式会社  
 百十四ビジネスサービス株式会社  
 株式会社百十四人材センター  
 百十四財田代理店株式会社  
 Hyakujushi Preferred Capital Cayman Limited  
 株式会社百十四システムサービス  
 株式会社百十四ジェシーピーカード  
 株式会社百十四ディーシーカード  
 百十四リース株式会社  
 百十四総合保証株式会社

# 店舗等の配置

[平成29年9月30日現在]

- 本・支店 ● 出張所
- 代理店 ● その他 (単位:カ所)

	香川県内	香川県外	計
本・支店	65	38	103
出張所	21	0	21
計*	86	38	124
店舗外 A T M コーナー	155	16	171

※代理店、その他を除く

